

令和5年度 学校自己評価

基本方針 安全・安心で生徒職員ともに元気な学校づくり

SDGsの理念を踏まえて、生徒の長所を引き出し地域社会に貢献する学校づくり

重点目標	具体的目標
<p>1 基本的生活習慣を確立させるとともに、粘り強い指導で規範意識の醸成を図る。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組み、基礎基本の学力定着を図る。</p> <p>3 社会の担い手となるために、キャリア教育の一層の充実を図る。</p> <p>4 部活動や地域活動などへの積極的な参加を促すとともに、外部人材の活用や地域貢献を図りながら、本校の取組を中学校や地域に積極的に発信する。</p> <p>5 教職員間のコミュニケーションや連携を図り、多忙化解消や不祥事防止に努める。</p>	<p>(1) 生活指導 規範意識の醸成、明るく元気な集団の育成、厳しくも暖かく粘り強く ①基本的生活習慣の確立 ②元気なあいさつ・返事 ③ルールの遵守、マナーの向上、TPOに応じた行動の確立、丁寧な言葉遣い ④身だしなみ指導の徹底 ⑤保護者との早めの連携 ⑥生徒の動向、多様化する生徒への対応の充実</p> <p>(2) 学習指導 基礎基本を徹底し、自ら学び、自ら高める態度を育成する ①授業規律の徹底 ②授業力の向上、授業改善 ③家庭学習の定着 ④「総合的な探究の時間」の指導プロセスの明確化とプログラム化 ⑤COREハイスクールネットワーク事業による教育課程の一層の充実 ⑥スクールエンジンの運用による学校業務の円滑化</p> <p>(3) 進路指導 自分の持ち味を知り、夢を実現するための努力をする ①3年間を見通したキャリア教育の推進 ②「社会の担い手となること」を基本とした就職指導の充実 ③進学指導の充実と大学入試改革の研究</p> <p>(4) 部活動・特別活動・地域貢献活動 心と身体の鍛錬、成就感と達成感を体感 ①生徒の実態や活動状況を踏まえた部活動の充実 ②生徒自ら参加する意識づくりと感動ある行事づくり ③生徒自らの企画運営による生徒会活動、委員会活動の充実 ④ボランティア活動等の地域連携・地域貢献の推進 ⑤地域コンソーシアムの構築と外部の人材・組織の活用</p> <p>(5) 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害の防止 ①職員の和による強固な協力体制 ②タイムリーな報告・連絡・相談による情報の共有化と業務の効率化 ③在校時間の縮減、ストレス解消、余暇時間の確保と活用による健康管理 ④日々の意識と声かけによる不祥事の防止</p> <p>(6) その他 ①効率的・効果的な環境美化 ②積極的な情報発信（ホームページ、インスタグラムのタイムリーな更新）や地域への広報 ③知多半島内の中学や地域との連携の推進 ④同窓会との連携</p>

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	①PTA活動をより充実、活性化させる。	PTA活動の様子を保護者に向けて積極的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> プリント、メール配信サービス、ホームページ、Instagramを活用して参加を呼びかける。参加人数は、のべ160人以上を目標とする。(4月在籍数163名) PTA活動の取捨選択をするとともに、参加型研修会の新しい活動を模索する。
	②内海高校の魅力を高め、発信する。	きめ細やかな情報発信をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、Instagramのタイムリーな更新を継続しつつ、他分掌との連携を図り、内容を一層充実させる。 入学希望者の増加を目指し、訪問型学校説明会を実施する。 保護者や外部機関へのアンケートや、外部機関へ訪問と連携を通じて、内海高校の魅力の再発見と構築を目指す。
教務	①落ち着いた学習環境を作り、基礎基本の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の確保に努め、生徒が落ち着いて授業に向かう環境を作る。 生徒の学習意欲を喚起する内容の授業や課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初から授業を受けるルールを生徒に周知し、学年及び学校全体で規律ある授業への姿勢を育成する。 週末や長期休暇において課題を課し、生徒の家庭学習の時間を確保する。 生徒個々の特性やニーズを把握し、生徒にとって最適な授業を考察する。
	②新しい教育課程に対応した教育活動の円滑な実施を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価の円滑な実施のためのシステムをつくる。 校務支援システムを有効的に活用し、出欠・成績の管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 観点別評価の方法を全職員で共有し、評価方法の改善をする。 観点別評価の課題を洗い出し、改善策を検討する。 校務支援システムの運用方法の計画、全職員への周知、管理を行う。
生徒指導	①基本的な生活習慣の確立を図る。	欠席・遅刻を減少させる。授業に集中できるよう体調管理を意識させる。	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から体調管理を意識させ、体調を崩さないような生活を送る意識と安易に欠席しない態度を育成する。 不登校の傾向がある生徒への声掛けの工夫と生徒や保護者へ寄り添った対応をする。
	②ルールの遵守、マナーの向上を図る。	ルール・マナーを遵守し、TPOに応じた行動ができるよう促す。	<ul style="list-style-type: none"> 校内外を区別せず「公共」を意識した行動を身につけさせる。 元気なあいさつ・返事を励行し、内海高校の誇りとなるように意識させる。 校則が生徒にとって分かりやすくより良いものとなるよう、生徒や保護者の意見も聞きながら絶えず見直しを行う。
	③学校行事、部活動、地域貢献活動の活性化と充実を図る。	生徒が充実感・達成感を得られる工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を踏まえた指導の工夫を行う。 学校行事、HR活動、ボランティア活動等、生徒自身が主体的に企画・運営できる支援をする。生徒会活動も活性化し、生徒主体での取り組みを増加させる。
		部活動への参加率向上を目指し、やめさせない工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日指導に当たることを目標に、会話や指導を通して信頼関係を深め、生徒のやる気を引き出す。 自主的で充実した活動を通じて、自己肯定感を育ませる。

	④安心安全な学校生活を推進する。	いじめを防止するため、組織的に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に見直したいじめ防止基本方針に則り、被害者に寄り添った対応と、どの生徒にとっても学校が安心な居場所となるようないじめが起きにくい環境づくりを行う。 ・SNSの利用において、ルールやマナーの遵守を徹底し、その態度や行動を醸成する。
		多様化する生徒への対応を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する生徒や不登校生徒への対応、セクシャルマイノリティへの配慮等を早期に組織的に対応する。 ・スクールカウンセラー等の外部機関との連携を図る。
進路指導	①進学指導・就職指導を充実させる。	進学・就職両面において、生徒の基礎学力の向上の工夫と教員間の情報の共有化を図り、適切な指導ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・進学と就職両方の指導に関して、個々の希望に応じた適切な指導をする。また、STテストや補習や模擬試験を可能な限り活用させ、基礎学力の向上を図る。 ・就職指導として、教員間で事業所に関する情報の共有を図り、早い時期から生徒の希望と受験先のマッチングを意識した指導を行う。また、夏期対策講座の充実を図る。
	②低学年から進路意識を持たせる。	進路行事を積極的に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習をはじめ、学力に関する意識付けとともに、なるには講座、大学や企業の見学などの行事を通じて、低学年から進路意識を持たせる。特に、昨年度までの活動を踏まえ、キャリアステップ講座の充実を図る。
保健厚生	①ボランティア活動の継続と充実を図る。	ボランティア活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とあゆむボランティアについて、学校周辺の清掃活動を継続するとともに、大地の丘への訪問や、南知多町の津波避難訓練への参加、内海海水浴場の清掃なども実施することで、地域に対して内海高校の良さを発信する。 ・高校生ボランティアアワードに参加し、ボランティア活動に励む全国の高校生と交流することで、本校の生徒のボランティアに対する意識を発展させるとともに、本校の活動を全国に発信する。
	②生徒委員会活動の充実を図る。	美化委員会の活動で生活環境に対する意識の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員を中心に年間2回の清掃道具の点検を行い、物を大切にすることを養うとともに、充実した清掃活動を行える状況をつくる。 ・校門の花壇に季節の花を植えたり、除草・水やりの当番を決めて整備を行うことで、気持ちの良い学校環境をつくる。
		保健委員会の活動で自らの身体や、健康情報に関心をもたせるように工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健だより生徒号」を発行することで、生徒目線の健康情報を発信する。 ・学校保健委員会の準備等を通じて、本校における健康課題を理解し、課題解決に向けて、保健・安全活動を充実させていくこと。
	③相談活動の充実を図る。	スクールカウンセラーと連携し、相談活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに配慮して、丁寧に相談活動を実施する。 ・学年を中心に情報を共有し、生徒の学校生活を支援する。 ・支援・配慮の必要な生徒に適切な支援・配慮ができるように、スクールカウンセラーとも情報を共有する。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
1 年	①規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図る。	ルール・マナーを守らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境を整えるために、教室の環境整備、授業規律の徹底を図る。 ・集団を意識できるような声かけを生徒に行うことで、ルールとマナーの周知徹底を図る。 ・言葉遣いを正し、礼儀正しい行動をとれるように声かけをしていく。
		生活リズムを整えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 ・体調管理に努めさせ、欠席・遅刻の減少を図り、社会に適応する能力を高める。 ・休日や長期休みに生活リズムが乱れないようにさせる。
	②学習習慣の充実を推進する。	提出物・課題の提出期限を守らせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週末に課題を出し、家庭学習の習慣を付けさせる。 ・提出物や課題を早めに提出する習慣を身に付けさせる。
2 年	①進路実現を意識した行動を推進する。	自己理解、他者理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く態度を養い、聞いたことを理解し行動につなげることを意識させる。 ・他者理解を促し、自分本位な行動にならないように心掛けさせる。
		規範意識の高揚、皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を確立させる。 ・自ら考えて行動できる力を養うとともに、皆勤者の増加(昨年度以上)と遅刻回数の減少を図り、社会に適応する能力を高める。
	②コミュニケーション能力の育成を図る。	TPOに応じた言葉遣いを意識付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手より先に、相手の気持ちが明るくなる挨拶をできるようにする。 ・言葉や字を丁寧にして、自分の思いを丁寧に相手へ伝えることをさせる。
3 年	①進路の実現を図る。	基礎基本を大切に、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確保に努め、落ち着いた学習環境の中で、集中して話を聞く姿勢を確立する。 ・週間課題や帰りのSTの時間に学力向上のためのプリント学習を行う。 ・日々の授業の成果である定期テストにおいて、欠点保有者をなくす。
		進路意識を高めさせ、進路指導を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談週間、個人面談、進路ガイダンス、進路対策講座などを有効活用する。就職、進学後1年以内の離職率、離学率をゼロとするために、より一層生徒の就職に対する意識と基礎学力を高めていく。
	②信頼される社会人として必要な能力や習慣の育成を図る。	皆勤率の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆勤の意義を説き、その実現に向け努力を促す。数値目標は皆勤率60%以上とする。
		身だしなみルールの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常から声をかけて、常に面接試験に臨む身だしなみを意識させる。また最上級生として、下級生の見本となる意識を高める。
		コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年として明るく元気な挨拶や素直な返事、正しい言葉遣いができるように学年全体で促す。 ・公共の場での言動に気をつけさせる。社会に出たときに、自然と場に応じた話し方や立ち居振る舞いができるようにする。